

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成29年11月17日			
留 学 先 大 学	Université de Toulouse-Le Mirail (国名: France)			
所属学部・学科等名	DEFLE			
在 籍 身 分	étudiant			
留 学 期 間	平成28年9月1日～平成29年6月1日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: フランス大使館			
	取得方法, 提出書類: フランス大使館ホームページに記載されている必要書類 (パスポート等) を、大使館に直接提出。			
	手続きに要した日数: 提出から郵送まで一週間			
その他必要な事前手続き	CampusFrance での手続き。			
出 国 年 月 日	平成28年9月1日			
経 路	成田 → Paris CDG → Toulouse-Blagnac			
現 地 での 出 迎 え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	現地の学生が様々なオリエンテーションを、定期的に関いてくれる。			
帰 国 年 月 日	平成29年6月1日			
経 路	Paris CDG → 成田			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	570,000	円	
	内訳	渡航費	150,000	円
		保険料	120,000	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	200,000	円
		食費	100,000	円
		その他 (費)		円
(費)		円		
(費)		円		

留学先国の医療事情 (日本と比較して)		
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水道水は飲まないほうが良い (自己責任で飲んでいる人もいた)。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
大学の周辺に移民が多らしく、日が落ちてから出歩くのは止められた。道端で突然罵られることはたまにある。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
食料品が安く手に入るのので、マルシェでの購入がおすすめ。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	3月に卒業後4月に入社。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	エントリーシートはフランスからメールで提出した。面接日程を帰国に合わせてもらえるかあらかじめ就職先企業と交渉した。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
マイナビ	https://job.mynavi.jp/2019/	登録することでエントリーが可能になるサイト。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
健康に気をつけて留学してください。		

学習の概要に関するレポート

学習面に関して、私が実行したことを踏まえて、改善点と共に紹介します。

まず、渡航前にフランス語能力検定三級を受けました。留学先の大学に着いてすぐに語学力テストを受けました。その結果によって、A1,A2,B1,B2,C1,C2 のどれかに振り分けられます。クラスは大きく、ユーロ圏の留学生とそれ以外で分けられ、その後で能力別にクラスが割り当てられます。A1 から順に難しくなり、C2 が最上級です。同じクラスには、国籍や年齢が様々で、働いている人や移民の人も多くいました。

授業は1日に、平均して2時間の授業が2回ありました。作文や発表、会話の授業の他に、*théâtre* という教室の前で演じる授業がありました。毎回違う条件を当てはめられて、即興で役になりきります。プレッシャーがすごいので私は好きではありませんでしたが、普段自分が使わない文を考えることになるので、役に立つ授業だと思います。

授業以外で取り組んでいたことは、日本語学科のフランス人学生と一緒に予習復習をすることです。日本語の文法や表現をフランス語で説明するのは意外と難しく、工夫して言い換えたりすることでフランス語の語彙も増えました。そして自分たちもわからないことがあればすぐに尋ねることができるので、効率良く勉強することができました。

もう一つ、後期からはフランス人学生が受講する日本史の授業に紛れていました。人が多いのでばれません。日本史の授業に潜入する利点としては、すでに大体の授業の内容を知っているの、そこを理解する必要がなく、リスニングにだけ集中できます。そして、日本の歴史がどのように外国で説明されているのかを知る面白い機会になります。私個人は日本史が苦手なので、たまに知らない話をされてついていけないことがありましたが、概ねおすすです。

帰国直前に DEFLE の B1 と B2 を受験しました。フランスでの授業は全て、DEFLE 受験のためのプログラムだったので、教授に質問もしやすく、プリントや資料を集めるのも簡単でした。B1,B2 共に長文読解、リスニング、口頭試験があります。想像していたよりもリスニングが難しく、実際のラジオが流れたときは聞き取れなかったです。日頃からニュースを聴くと良かったのだと思いました。RFI というアプリは24時間フランスのニュースを流しているので、携帯に入れておくといいかもしれません。口頭試験は、短い記事の抜粋を渡され、数十分の待ち時間の間にそれをまとめ、自分の意見を踏まえて試験官の前でスピーチをします。素早く読み、内容を把握し簡潔にまとめ、自分の意見を練って発表しなければいけないので、専用の対策と練習をする必要がありました。ただ長く話しても意味がなく、試験官からの質疑応答もあります。

受験前に正しく対策と勉強ができていなかったことが反省点です。日本での受験料より半額で受けられるので、ぜひ受験して帰ってください。

生活の概要に関するレポート

フランスと日本では日常的に異なる文化が多々ありました。生活する上で気づいたこと、気をつけたほうが良い点を紹介します。

まず、着いてからほとんどのことは、現地の学生がサポートしてくれたので、入居や入学手続き、銀行開設、携帯契約に困ることはありませんでした。入居についてはあらかじめ届いている契約メールを、日本で印刷しておく必要があります。そして自分の住所が分かり次第、CAF への申請を済ませることを勧めます。これは家賃補助の制度で、申請がうまくいけば家賃の半額ほどが返還されます。この際、戸籍謄本の法定翻訳が必要なので、日本で翻訳を委託するかマルセイユの日本大使館で翻訳してもらってください。金額はマルセイユのほうが安い(10euro)ですが、郵送や代理人受け取りはないので、現地まで本人が取りに行かなければいけません。

入学手続きの時に語学力テストを受けます。その結果で今後のクラスが決まります。詳しくは学習の概要に関するレポートに記します。

銀行開設はCAF 申請と、日本からの送金のために開設します。これにはフランス人学生が手伝ってくれるので安心です。ATM はいたるところにあり、引き出しに困ることは基本的にはありません。

携帯の契約料金は 20euro,50GO/mois と、とても安価です。SIM フリーの携帯を持っていくか現地で買って、すぐに使用できます。友人は 80euro ほどのスマートフォンを購入して、それをルーター代わりに日本の携帯を使っていました。

次に治安についてです。大学がある Toulouse は観光地ですが、アジア人が多くはありません。個人的な意見ですが、中心地ではましても大学周辺になると治安も悪く、アジア人は悪目立ちすることがあります。暗くなってからの女性一人の外出は極力避けてください。いきなり怒鳴られたり、罵られたり、馬鹿にされたりすることは何度かありました。無視するのがよいそうです。しかし、基本的にいい人が多く、そういった人はごく一部です。

買い物に関しては、大きなスーパーが通りやすい沿線にあり、Marché も休日だけでなく平日もいろいろなところで開かれていますので、困ることはありません。極力食材は Marché で手に入れたほうが良いと思います。Marché では野菜や果物を量り売りしていることが多いので、売り手の人たちと会話をして商品を受け取ります。金額も口頭で言われるので、数字の聞き取りにも最適です。その上、毎週通うと顔を覚えてもらえて、おまけしてもらえます。

フランス人との交流については、現地の日本語学科の学生たちが頻繁にオリエンテーションを開いてくれるので、それに参加すると友達が増えます。スキーに行ったり、ホームパーティに招待してくれたりします。日本のことや、フランスとの文化の違いが話題に上りやすいです。